

にじのきらめき速報

No.5

高温耐性品種で多収と高品質を目指して!!

先週から雨量が多く曇りや雨の日が続いています。今週のにじのきらめきは、茎数の増加が緩やかになってきました。本格的な梅雨を迎えてきますので、気象に細心の注意をはらっていただき、病害虫の予防と防除に努めてください。

1. J A 生育調査状況（7月3日現）

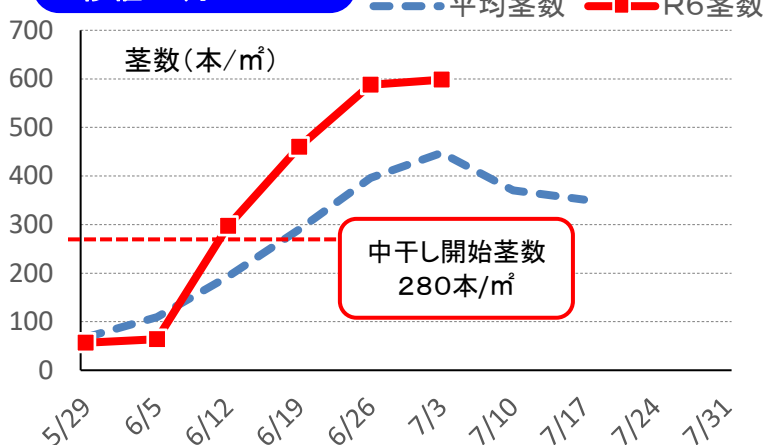
栽培区分	平均作業日	草丈 cm	茎数 本/㎡	葉令	葉色
移植	5月20日	62.8	598.3	-	4.3

【平年比】

●草丈：並み ●茎数：多い ●葉色：並み

2. 茎数の推移と今後の管理

移植 5月20日～



3. にじのきらめき栽培管理のポイント

① 幼穂形成期からの水管理(中干し終了後)

幼穂形成期に入りました。浅水の通水を実施し、うわ根の発生促進や根の健全化に努めましょう。

間断通水で多収穫!!
中干し終了後の水管理

- 入水: 水位: 3程度 自然落水
- この水管理の繰り返し。

◆ 足跡や溝に水が残っている状態で再び入水。

◆ 渴かし過ぎないように!!

【生育調査の状況】

- 茎数が先週とほぼ横ばいです。最高茎数期に達した見込みです。
- 中干しを継続してください



② いもち病対策

梅雨入りしましたので、稲体を確認し、いもち病発生が見られたら至急、薬剤防除を実施しましょう。



ブラシン粉剤
(3～4kg/10a)
治療剤収穫7日
前まで使用回数
2回以内